

国立三小6年生が藍染め体験をしました @畑の家

国立第三小学校の6年生、計86名がクラスごとに順番に畑の家を訪れ、藍染め体験を行いました。

藍の葉をつかった染めや、布に模様を写し出すたたき染めに取り組み、それぞれが思い思いの作品を仕上げていました。布を広げた瞬間には歓声や笑顔があふれ、達成感とともにのんびりと創作を楽しむ姿が印象的でした。子どもたちからは「のんびりできた」との声もあり、安心して取り組めた様子が伝わってきました。

この取り組みは、学校教育における探究活動の一環として実施されました。近年、学校では探究の時間が増え、その意図や目的は「地域理解」にあります。国立市の歴史や文化にふれ、地域の良さを知り、そこに誇りをもって生きていくことを目指す学習の流れの中で、藍染めは地域文化を直接体験する貴重な機会となりました。

染め上がった布の模様は一つひとつが異なり、それぞれがよく、優劣を比べることなく互いに学び合える場となったことも、とても大切な姿でした。子どもたちが地域の文化を体感しながら、自分の手で作品を生み出す経験は、国立の良さを感じ、誇りをもつきっかけにもつながっています。



↑皆で染めた物を干しています

染色中→



↑たたき染め

また、こども園の職員や大学生がサポートに入り、さらにフリースペースに通う中学2年生も電車で駆けつけてくれて、子どもたちにとって心強い身近な存在となりました。こうした事業をまたいだ協力や世代を越えた交流を通して、地域のつながりが一層豊かになっていることを実感します。

最後に――

学校教育における探究活動は、地域を理解し、地域とともによりよい未来を築くことを目的としています。藍染めの模様が一人ひとり異なるように、子どもたちの学びもそれぞれに尊重され、比べることなく学び合える時間となることが理想です。そんな「楽しんで学ぶ時間」を、私たち地域NPOはこれからも学校と一緒に支えていきたいと考えています。子どもたちの探究が地域につながり、地域が子どもたちを育てる――その循環を広げていけたらと思います。

以上